熊谷市
記者クラブ取材情報

令和8年4月23日発表
担当課：道の駅整備室

タイトル

新しい道の駅の名称が「道の駅くるん熊谷」に決定しました

1．日時

2．場所　熊谷市池上地内

3．事業概要

令和１０年３月の開業に向けて整備を進めている新しい道の駅について、このたび名称が決定しました。
全国から合計２，２２３件の応募をいただきました。
名称選定委員会で選考した結果、最も施設のコンセプトにふさわしく、皆様に親しまれる名称として選定されました。

（決定名称）道の駅くるん熊谷
（公募期間）令和７年１２月１日～令和８年１月９日
（応募件数）２，２２３件

4．特徴やPRポイント

「くるん」とは「来るの？」といった熊谷の方言を用いた名称で、熊谷の特色をよく表しており、響きの良さから親しみやすさがあり、道の駅の呼称として定着が期待できる点が評価されました。

5．その他

発案者（熊谷市内在住：匿名希望）には、クマＰＡＹ３０，０００円を進呈、賞状をお渡しします。

※資料の有無（ 有 ・ 無 ）　※市HPの掲載（ 4月30日頃 ）

担当者　道の駅整備室　村松・齋藤
連絡先　048-524-1111（代表）　内線532

道の駅「くるん熊谷」　概要

令和8年4月23日
【記者会見資料】

位置図



【事業目的】

・国道17号熊谷バイパスや国道125号の道路利用者へ休憩場所の提供や道路情報の発信を行うことにより、安全で快適な道路交通環境を提供する。

・熊谷流の農業・食文化を核とした食のおもてなし、調理などを通じた食育などが体験できる道の駅を整備し、その取組により“熊谷ブランド”を創造・確立・全国に発信し、地域振興を図る。

国道17号熊谷バイパス側



・子育て世代を応援するため施設設計の方針を「食×子ども」とし、安心して子育てができる環境を提供するとともに、地域資源を活用した観光交流及び地域産業の活性化の拠点を形成し、あらゆる世代が活躍する舞台を提供する。

【事業期間】

令和6年3月18日から令和25年3月31日（令和10年3月開業予定）

【事業者】

会社名：熊谷RSマネジメント株式会社（特別目的会社）

（内訳）（市内企業は下線あり）

構成企業：NECキャピタルソリューション㈱、小川工業㈱、大和建設㈱、
㈱ワールドインテック、㈱東海テック

協力企業：㈱三橋設計、三協測量設計㈱、㈱サンワックス、㈱八木橋、㈱馬車道

【施設規模】

・敷地面積：66,598㎡（うち国整備分 10,404㎡）

・駐車場395台（小型315台（うち身障者用屋根付き10台）、大型74台、セミトレーラー6台）

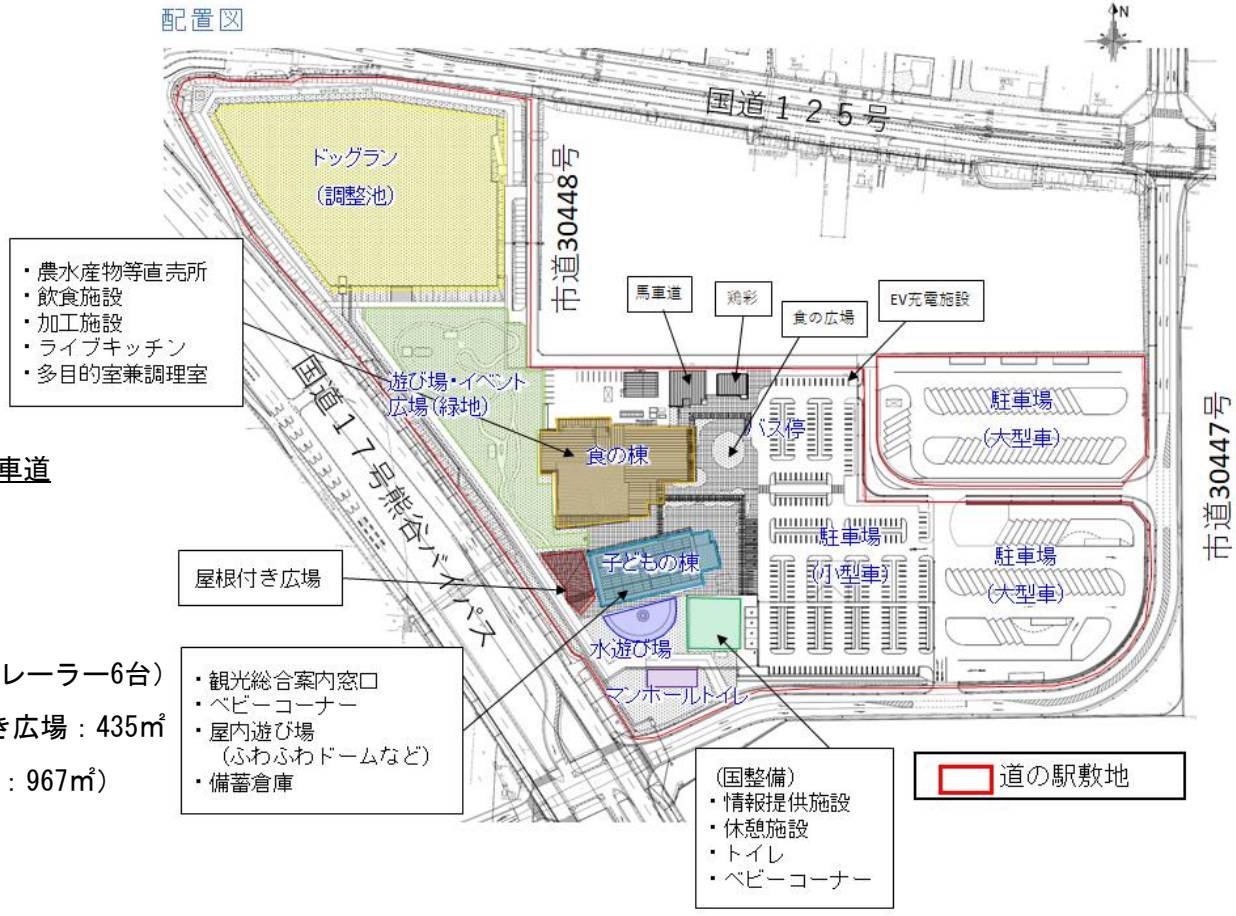
・駐輪場40台（自転車30台、バイク10台）　・子どもの棟：1,531㎡、屋根付き広場：435㎡

・食の棟：2,877㎡（フードコート：４店舗　客席：264席　農水産物等直売所：967㎡）

・ドッグラン：約10,000㎡（小型犬：約4,000㎡、中型・大型犬：約6,000㎡）

・馬車道：284㎡、鶏彩：145㎡

配置図



道の駅　施設概要



※画像はイメージであり今後変更の可能性があります。

道の駅　施設概要

子どもの棟 / 屋根付き広場





屋内遊び場

暑い日や雨の日でも天気を気にせずに遊べる屋内遊び場です。
ふわふわドームで飛び跳ねたり、木製の大型遊具を上り下りするなど、大小様々な遊具で遊ぶことができます。

年齢や個性、スキルに合わせた遊具により、誰もが安全に楽しめる遊び空間です。





屋根付き広場

屋内遊び場からつながる屋根付き広場では、屋内の子どもの様子を見守ったり、広場で開催される様々なイベントを楽しむことができます。

食の棟





農水産物等直売所・加工品販売所

市内で生産された農産物や熊谷銘菓、地酒など様々な商品が並ぶ直売所です。
ライブキッチンでは市内産小麦粉や鶏卵を使用したスイーツが目の前で製造され、作り立てを購入することができます。



フードコート

４種の店舗で地元食材を使用したメニューを提供します。
インテリアの異なる複数のエリアを設け、利用者のライフスタイルに応じた雰囲気で食事を楽しむことができます。

※画像はイメージであり今後変更の可能性があります。